



浜松市が生んだ
唯一無二の日本画家

中山計介 展

エオ・夕

存在するモノ達

2020 4.25 [SAT] → 6.14 [SUN]

○休館日 / 月曜日 (5月4日は開館)、5月7日 [木]
○開館時間 / 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

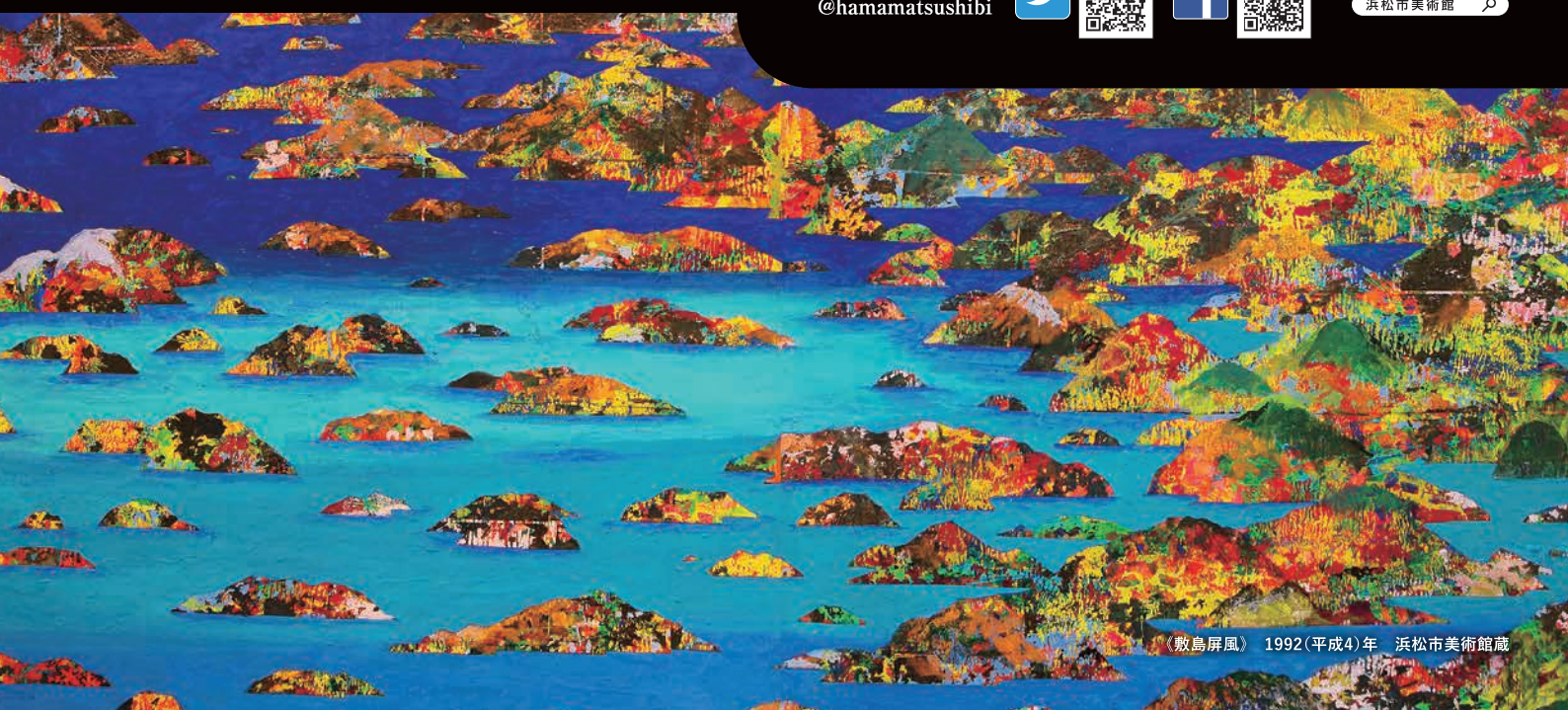
■主催 / 浜松市 ■共催 / 中日新聞東海本社

浜松市美術館 〒430-0947 浜松市中区松城町100番地の1
Tel 053-454-6801

[浜松市美術館公式SNS]
@hamamatsushibi



[浜松市美術館で検索]
浜松市美術館



仲山計介展

エオンタ 存在するモノ達

画面に渦巻く力強い色彩
約30点の作品と共に追う画業の変遷。

「目には見えないモノを描く」ことに挑戦し続ける日本画家・仲山計介。多摩美術大学の卒業制作から描きはじめた「エオンタシリーズ」（「エオンタ」はギリシャ語で「存在するモノ達」を意）は、仲山の代名詞となりました。浜松市美術館所蔵の《敷島屏風》や最新作《聖地巡行》などの「島シリーズ」は、抽象的な「エオンタシリーズ」とは対照的に、海や山など、具象的な風景が浮かび上がります。これらの風景は、モノを俯瞰する視点で描かれ、仲山の唯一無二の表現を象徴しています。本展では、「エオンタシリーズ」、「島シリーズ」を中心とした作品群を、仲山の創作活動の変遷を追うように展示します。また、令和元年～2年に完成した未発表の新作9点を初公開いたします。浜松市が生んだ前衛的日本画家・仲山計介の「再現ではない表現」をご堪能ください。



《風神雷神 (部分)》2019 (令和元) 年

仲山計介 Nakayama Keisuke

1948年浜松市生まれ。多摩美術大学大学院絵画専修科修了。「エオンタシリーズ」、「島シリーズ」を中心に、今日に至るまで40年以上に渡り作品を発表し続け、遠州美術賞展準大賞（1994年）、静岡県文化奨励賞（1998年）、川村文化振興財団川村賞（2000年）など、数多くの賞を受賞する。



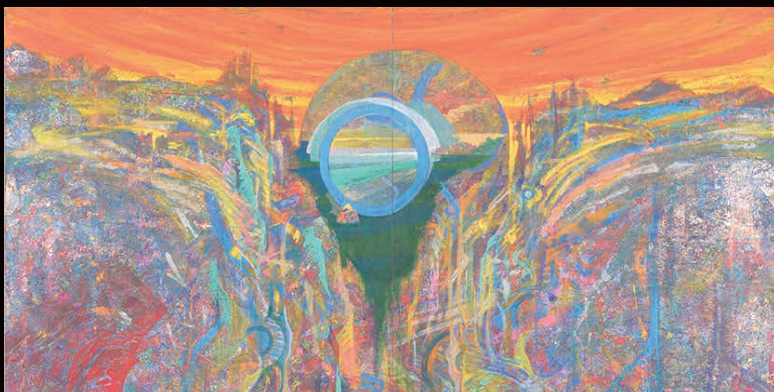
《春陽山水》1997 (平成9) 年



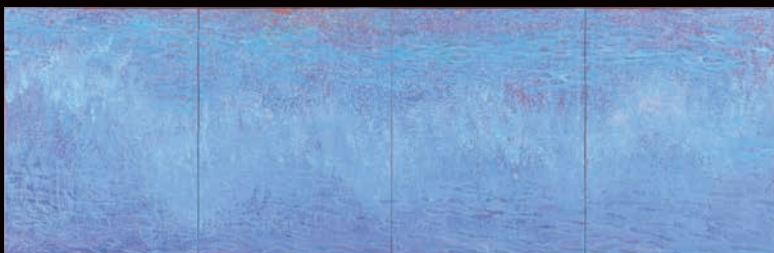
《兆 (きざし)》2020 (令和2) 年



《エオンタ5403》1979 (昭和54) 年



《光景図》1996 (平成8) 年



《調べ》2019 (令和元) 年

観覧料 (消費税込)	一般	高校・大学・専門生	小・中学生	70歳以上
当日 (20名以上の団体)	600円 (480円)	400円 (320円)	無料	300円 (240円)

※障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料。

会期中のイベント

講演会
「仲山計介の作品をめぐって日本画を再考する」
仲山計介 (本展作家) × 野地耕一郎 (泉屋博古館分館長)
○開催日 / 5月16日 (土) 14:00～15:30
○場 所 / 2階講座室 ○予約不要 (先着50名)・要観覧料

ワークショップ
「デカルコマニーで表現しよう」
○開催日 / 5月30日 (土) 14:00～16:00 ○場所 / 2階講座室
○講 師 / 仲山計介 (本展作家) ○参加費 / 200円 (要観覧料)
申込方法 浜松市美術館宛てに「①参加者氏名、②年齢、③電話番号」をメールにてお送りください。(先着20名)

学芸員による
ギャラリートーク
○開催日 / 5月24日 (日)・
6月6日 (土) 14:00 (30分程度)
○予約不要・要観覧料



仲山計介展 エオンタ～存在するモノ達～は、全作品写真撮影OK・SNS投稿大歓迎! #仲山計介展 #エオンタ #浜松市美術館 #日本画

交通のご案内 【バス利用】 JR浜松駅北口バスターミナル1番乗り場より遠鉄バス乗車約8分、「美術館」下車。
【車利用】 東名高速浜松I.C.、浜松西I.C.から約30分。三方原スマートI.C.から約15分。浜松城公園駐車場が無料利用できます。
※会期中は浜松市役所駐車場を2時間無料にてご利用できます。駐車券を受付にお持ちください。

浜松市美術館 浜松市美術館公式SNS @hamamatsushibi 浜松市美術館で検索 浜松市美術館